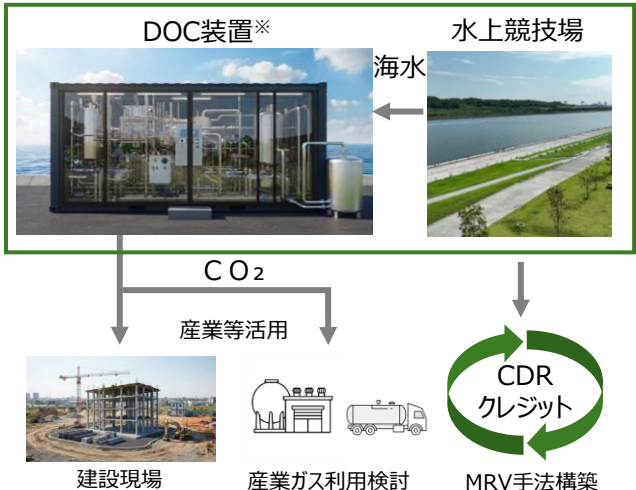
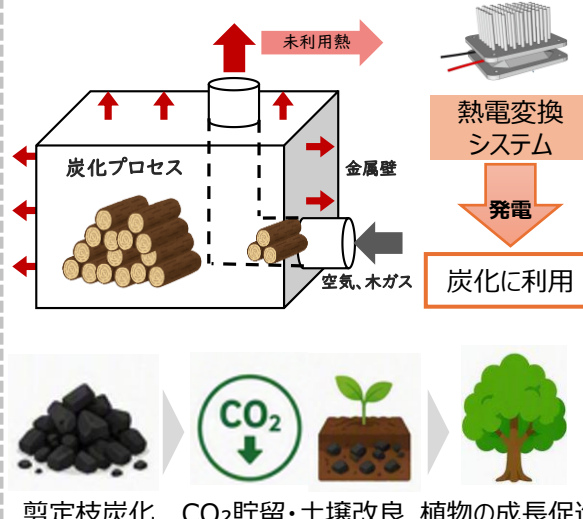


令和8年度 採択プロジェクト

【別紙】

※赤字：スタートアップ企業

テーマ	環境改善	再生可能エネルギー	資源循環
概要	海水中からCO ₂ を直接回収し、資源として有効活用	港湾エリアで海水から水素製造・水素コストの削減	公園・緑地の剪定枝を炭化装置によりバイオ炭として再利用
事業者	清水建設株式会社（代表）、 Green Carbon株式会社、 国立研究開発法人海洋研究開発機構	株式会社上組（代表）、 株式会社pHydrogen	株式会社日比谷アメニス（代表）、 株式会社未来創造部、国立研究開発法人 産業技術総合研究所、株式会社グリーバル、 ビルマテル株式会社
内容	R9:中央防波堤エリア 海水からのCO₂回収 R10:建設現場 CO₂でアルカリ排水を中和 →効率よくCO₂を回収し、産業等の場で活用  DOC装置※ 水上競技場 海水 CO₂ 産業等活用 建設現場 産業ガス利用検討 CDR クレジット MRV手法構築 ※Direct Ocean Capture	R9:中央防波堤エリア 海水電解システムの設置 R10:上組敷地内 海水電解システムの設置 →淡水化せず水素製造。グリーンエネルギーの地産地消  オンサイト海水電解システム 海の森水素ステーション (R9.4 開始予定) 港湾施設水素モビリティ	R9:海の森公園内の剪定枝活用 R10:資材製造会社へ拡大 →剪定枝を資源化。CO₂を100年以上貯留  未利用熱 熱電変換システム 発電 炭化に利用 炭化プロセス 金属壁 空気、木ガス 剪定枝炭化 CO₂貯留・土壌改良 植物の成長促進

※スケジュール、実施場所については事業者による企画提案時点の予定となります。また、上記の画像・イラストはイメージです。